

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	12
基本施策	4	商工業の振興	評価責任者	産業振興課長 横田 和幸
単位施策	2	多様なビジネス展開の促進		

1 施策の概要

基本方針	商工会等と連携し、研修会の充実や異業種交流の拡大などを進め、起業家支援や新しいビジネスモデルの発見など多様なビジネス展開につなげ、内発的な地域産業の育成、高次化を図ります。	
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）
	商工会が中心となって研修会や新たな事業展開を進めるため、地域産業の育成に努力している。また、だったんそば焼酎が3周年記念として「原酒」の製造を行った。	商工会が中心となって研修会や新たな事業展開を進めるため、地域産業の育成に努力している。また、だったんそば焼酎については、「雄武」に続き「満天きり」の販売を開始した。
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）
	研修会や異業種交流の拡大に努めているが、中々、起業家支援や新たなビジネスモデルの展開につながっていない状況である。	研修会や異業種交流の拡大に努めているが、起業家支援や新たなビジネスモデルの展開につながっていない状況である。

2 基本施策指標

指標1	指標名	異業種進出企業数					
	定義等	異業種進出企業数の累計					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値		2法人	3法人	3法人	4法人	5法人
指標2	指標名	異業種連携により開発された特産品数					
	定義等	異業種連携により開発された特産品の累積数					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値		1品目	1品目	1品目	1品目	5品目
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	【再掲】中小企業等振興事業	商工観光係	10,000	A	継続/現状維持	A
②	【再掲】地域特産品販売促進事業	商工観光係	598	B	継続/内容の見直し・変更	B
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	商工会と連携しながら起業家の支援や多様なビジネス展開につなげることは妥当であり、必要な施策である。
② 有効性	B	異業種交流の拡大や多様なビジネスの展開にはつながっていないが、地元の水産物を活用した特産品の研究開発に着手した企業もあり、概ね有効に施策の推進を図っている。
③ 効率性	B	現在のところ、異業種交流の拡大や多様なビジネスの展開については多少課題があるが、特産品の研究開発など、今後の展開に期待が持てる状況であり、概ね効率的であると判断する。
④ 公平性	A	特産品の開発など、将来的に地域の活性化につながることから、町民の理解が得られているものと判断する。
⑤ 町民意見の反映	B	特に町民の意見を聞く場を設けていないが、一部の町民の意見を反映しながら進めている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
町民の町内購買促進に向けた新たなビジネス形態のあり方など、社会情勢の動向を見ながら進める必要がある。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
新たな特産品の研究開発など、多様なビジネス展開の促進を図るため、今後においても継続して実施する必要がある。	同 左	

\*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止